# 江別駅周辺地区土地利用検討委員会 会議計画

平成26年度	会議の内容	
第1回 平成26年11月11日	<ul><li>・委嘱状交付</li><li>・委員長、副委員長の互選</li><li>・江別駅周辺地区の状況について説明</li><li>・会議計画について説明</li><li>・次回の協議のための資料要求</li></ul>	
第2回 平成26年12月15日	・江別小学校校舎の取扱いについて協議 →解体撤去を基本として跡地活用の議論を行う。 ・活用主体検討のための資料要求	
第3回 平成27年1月26日	・土地の活用主体、活用用途について意見交換 ・協議の進め方について委員から要望	
第4回 H27年3月	・委員会での検討の進め方について協議 ①民間事業者から活用案等を聴取することについて (敷地の評価、想定される活用方法等) ②外部講師による勉強会について ③江別小学校跡地の活用方法についてのアンケートについて (小学校跡地に望ましい機能について等) ・協議に係る経過報告書の提出について	

平成27年度	会議の内容
平成27年4月末	③まちづくり市民アンケートとの同封によるアンケート実施 ・住民登録のある18才以上の男女が対象 ・無作為抽出により5,000件郵送 ・回答期限5月末予定
第5回 平成27年6月	①民間事業者から評価・活用案等 ②外部講師による勉強会 ③アンケート集計結果の報告
平成27年7月以降	・活用方法、活用主体について協議 ・市長への報告書(案)の検討

# 皆さんの声をお寄せください!

## 江別小学校敷地等活用についてのアンケート調査

江別市では、江別小学校が平成28年3月に、江別第三小学校との統合により閉校となることから、「江別駅周辺地区土地利用検討委員会」を設置し、閉校後の土地の利活用方針について検討を行っています。

江別小学校敷地は、江別駅と国道12号の間に位置する交通利便性の良い大規模用地(約2万3 千㎡)であり、江別市のまちづくりに大きな影響があることから、全市的な観点で活用方策を検討するため、市民の皆さんからアンケートによりご意見をお聴きします。

なお、このアンケート結果は、今後の委員会の検討資料として活用させていただきます。



ここでいう江別駅周辺地区とは、概ね点線の中を指します。

#### あてはまる番号に〇をつけてください。

問1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

#### 問2 あなたの年齢をお答えください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

# (※番地は記入の必要はありません⇒大麻高町、野幌若葉町、○条○丁目) 問4 あなたは江別駅周辺地区をどれくらいの頻度で訪れますか。(Oは1つ) 1. ほとんど行かない 2. 年に数回程度 3. 月に1、2回程度 4. 週に1回程度 5. 週に数回以上、ほぼ毎日 6. 地区内に居住 7. その他 ( ) 問5 江別駅周辺地区は、主にどのような理由で利用しますか。(〇は1つ) 1. 公共施設の利用 2. 買い物や飲食 3. 仕事 5. 通学で駅を利用 4. 通勤で駅を利用 6. その他( ) 問6 江別小学校敷地等は、どのように活用するのが良いと思いますか。(Oは2つまで) 1. スーパーや店舗など、日常生活を支える商業機能 2. マンションや戸建て住宅など、居住者を増やすための住居機能 3. オフィスなど、働く場所を増やすための業務機能 4. 子どもや高齢者を対象とした福祉機能 5. 災害時の避難所など防災機能 6. 分からない 7. その他(自由に記載してください。)

問3 あなたのお住まいをお答えください。(町名のみ)

江別市

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答は、同封の市民アンケートとともに返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

5月31日(日)までにポストへ投函してください。

お問い合わせは、江別市役所企画政策部政策推進課(Tel381-1033)へ

### これまでの協議経過について

項目	方 針
①江別小学校校舎の取扱いについて	江別小学校の校舎は、老朽化が進み、耐震性に 不安があることから、委員会としては、閉校後に 速やかにかつ有効な土地活用を図るためには、解 体が妥当と判断する。
②土地の活用主体について	江別小学校の跡地に係る活用主体及び活用用途 については、平成27年度において継続して協議 するものとする。
③土地の活用用途について (優先順位)	
④土地の活用範囲について (隣接市有地を含めるか)	
⑤活用手法	